



# 学校だより



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>

12月号

学校教育目標 「みんなかがやけ あくわっ子」

㊦ いさつから輪を広げる子 ㊧ ふうして学び続ける子 ㊨ たしもあなたも命を大切にする子

「みんなで協力 一人ひとりが輝くチャンス あくわ博 2019」

校長 菊地 信明

阿久和小学校に続く道が、黄金色のイチョウのじゅうたんになっています。もう間もなく、すべての葉が落ち、本格的な冬の到来になるのでしょう。早いもので、令和元年も残すところ、あと1ヶ月になりました。テレビを見ていると、今年1年を振り返る番組が増えてきました。その時は、とても衝撃的で印象に残った出来事でも、時間が経ち、次の大きな出来事が起きると記憶の奥にいつてしまうようです。改めて振り返ることで、記憶に刻む大切さを感じています。

日々成長している子どもたちにとっても、様々な学びの場があったことと思います。特に11月は、校外での学習活動が多くあり、幸いにも子どもたちを引率する機会に恵まれました。3・4年生が参加した瀬谷区児童音楽会。瀬谷公会堂の舞台上、練習の成果を発揮し、大きな拍手をもらいました。舞台上立つ前の子どもたちの緊張した様子がとても印象に残りました。6年生が参加した横浜市小学校体育大会。横浜市の6年生が4日間に分かれて、陸上競技で交流しました。三ツ沢競技場のトラックを走ったことは、きっと忘れられない思い出になったことでしょう。同じ三ツ沢競技場で行われたオリ・パラスポーツフェスティバル。希望者の参加でしたが、瀬谷区で参加した小学校は本校だけでした。パラスポーツを実際に体験したことで、来年行われるパラリンピックへの興味を高めたに違いありません。4年生は、初めて企画された「心の教育バレエの世界」を観に行きました。華やかな舞台と鍛えられたバレエの動きを間近で観たことは、本当に貴重な体験だと思いました。5年生は、原小学校、三ツ境小学校の3校で、球技交流会を行いました。人数の都合で、本校は、バスケットボールのみの参加になりましたが、6年生の胸を借りて練習をしてきた成果が出て、他校と引きをとらない試合をすることができました。そして、3・4組の合同宿泊。あいにくの雨模様の中での実施でしたが、家庭から離れ、できるだけ自分の力で過ごした三浦での一泊二日は、とても貴重な学びの場になりました。共に過ごす時間がたっぷりあり、仲間意識を高めることができました。私自身も校外学習等に同行することで、より子どもたちとふれあえ、とても有意義な時間を過ごすことができます。また、子どもたちの育ちを直に感じることでできる機会となりました。



このように11月は、学校を離れての活動で、子どもたちの成長を見ることができました。そして、今、子どもたちが熱心に取り組んでいるのが12月14日（土）に行われる「あくわ博」です。今年めあては「みんなで協力 一人ひとりが輝くチャンス」です。自分たちの育ちを、他学年や保護者の皆様、地域の皆様に観ていただこうと気持ちが高まっています。今年度も、いずみ野中学校の吹奏楽部、松陽高校の書道部、そして隼人高校のソングリーディング部の皆様にも参加していただきます。（学校便りの中ページにプログラムが載っていますので、ご覧ください。）体育大会や球技大会では、保護者の皆様にご声援をいただき、子どもたちの力となりました。どうもありがとうございました。「あくわ博」でも、たくさんの皆様が観に来てくださること楽しみにしています。子どもたち一人ひとりの輝く姿をご覧いただき、大きな拍手をいただければ有り難いです。どうぞよろしくお願いいたします。